

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人らしさを考えた時に、その人の持っているものを大切にすることではないかと思い『自分でできること 自分で選ぶことを大切にする』という、ホームの理念をつくる。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事務所内に理念を掲示し、毎日の介護で何をどうしたら利用者にしていただけるのか考えながら行なっている。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	毎月の家族へのお便りに理念を掲載。近隣にもお便りを配布し、エリア内で発行している広報誌を公共施設、町内の商店等に設置している。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩に出掛けた際に、隣近所の人や出会った人に挨拶をしたり、いつでも立ち寄っていただけるよう言葉を掛けている。また、利用者が無断外出をしてしまった時に、連絡をもらえるようにホーム便りを配布し挨拶をして回っている。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	保育園との交流会、町の図書館の利用、町で開催される生涯学習へ作品を展示したり、発表会の鑑賞をしている。また、地元の店を利用し交流をしている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	出前講座の実施。エリア内で発行している広報誌 により、地域の老人会、婦人会、町内会等各種、 グループに呼びかけ、健康や福祉、介護につい て、資格を持った職員が出前講座の実施を行なっ ている。過去2回実施。	○	地域のクリーン作戦、交通安全の当番等への参加 を考えている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホームの向上と心得、指摘された部分は話し合 い、出来る限り改善を図っている。意見を参考に し、自分達の介護方法等を再確認する。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	利用者と触れ合う時間(行事への参加)を設け、利 用者の身体・精神状況をしてもらい、その後、 サービスの報告を行い、意見をいただいている。 介護に出た意見を介護に活かしている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	入退居の報告をしたり、古切手を集め持って行く 際に近況の報告をしている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している	現在、活用しなければならない利用者はいない。 研修の中で学んでいる。	○	今後も、順次、研修に参加し、学ぶ機会を設け る。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	実践者研修受講者は学んでいる。法人でマニユ アル作成している。虐待と見受けられる行為があ れば、管理者に報告し、防止に努めている。	○	研修に参加し、学んでいく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に説明を行い、疑問な点があれば、納得がいくよう説明をしている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	権利を守る委員の方に来てもらい、利用者の意見を聞いている。また、日常の会話の中から苦情と思われるものがあれば、苦情受付簿に記入し対応し、エリア内に報告するようにしている。	○ 権利を守る委員の方に来てもらう回数をもう少し増やす。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、居室担当からの近況報告を、ホームの便りと一緒に家族に送付している。健康状態や事故の報告は、その都度電話連絡をしている。金銭に関しては、面会時に出納帳を見せ、用途の説明をし、了承を得ている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居時に苦情受付の案内を行なっている。また、面会時に話を伺う事もある。意見等あった場合には会議で検討し、議事録や申し送りノートに記入し職員全員周知できるようにしている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議での意見交換、意見・提案があれば、午後の時間に話し合う時間を設けている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員に状況の説明をし、協力をお願いし、調整している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	特別な理由が無い限り、異動は無い。家庭の問題等でやむを得ない場合は離職もあるが、離職しなくてもよいように、時間や勤務日数の変更をしたりし、できるだけダメージが少なくなるようにしている。		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験年数に応じた法人内の研修に参加したり、一般の研修やセミナー等、興味のあるものについては、参加できるように勤務の調整を行い、質の高いサービスの提供ができるように努めている。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域には同業者が無い為、法人内のグループホーム6箇所と姉妹関係のグループホーム1箇所で2ヶ月に1回、向上委員会を開催しサービス提供に関する情報交換、勉強会、職員の交換研修を行っている。	○	職員の異動等で、職員の交換研修が以前のようにできていない為、定期的に行えるようにする。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	エリア内に衛生管理者を配置し、職員の相談窓口を設けている。休暇(連休も含め)は希望に副うよう配慮している。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年度終わりの自己評価も参考にして職員の勤務状況を把握している。また、本人の望む研修に参加できるよう勤務を調整したり、家庭の事情等を考慮して勤務を組んでいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者には機会を作り、直接聞き取りを行なう以外に、家族からも状況を伺っている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	認知症の症状等伺い、具体的にどんな事に困っているのか話し合う機会を設けている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話をよく聞き、利用者、家族の立場に立って利用者の「その時」を見極め、何が今一番必要な状況であるのか、見極め、助言、対応している。サービスの利用に当たっては、上司に報告、相談している。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に家族や関係者から情報を得たうえで、体験入居という形で1週間実際にホームで過ごす事もできる。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に掃除や洗濯、調理をするうえで、さり気なく昔の話を聞いたり、学んだりして、一方的な介護にならないよう相手の話に耳を傾けている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	できるだけ面会に来てもらうようお願いをし、家族参加の行事を取り入れている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居時に利用者の生活歴や人間関係等を伺い、また、知人や親類の面会の際にも話を伺ったりして情報収集をし、それを活かして支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	町内の店で買い物したり、知人の居る店に出掛けたり、知人宅を訪問したりしている。	○	本人や家族からもう少し、馴染みの店や知人の情報を得る。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	高度の難聴の利用者には職員が間に入り、他の利用者との間を取り持っている。また、リクリエーションを行なう時、利用者同士で誘い合ったり、声を掛け合っている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院、退居後も、必要に応じて利用者の情報交換をし、また、エリア内の特別養護老人ホームに入居された場合、訪問した際に言葉掛け等心掛けている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや希望はケースに記録し、職員みんなが把握できるようにしている。また、自分から思い等を伝えない利用者に関しては、相手の立場に立ち検討するように努めている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に家族から何うが、日常の利用者との会話の中からも情報を収集し、把握に努めている。	○ センター方式を取り入れ、情報収集を行なう。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	気付いた事は、ケースに記入し、他の職員にも伝える。定期的なバイタルチェックを行い、変化があれば申し送りをし、職員全員が把握できるように努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族には面会時に話を伺い、カンファレンスには本人も参加できるようにしている。	○ 家族も参加できるように、日にちを設定する。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直し前の身体状況の変化で、計画が実行できなくなった場合は、カンファレンスを開催し、新たに作成している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランの事はケアプランの記録用紙に、それ以外の気づき等は通常のケースに記録を残し、介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診の為の送迎、早期退院に向けた支援を行なっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア、民生委員の来訪や、保育園児との交流を行なっている。	○	近くの中学校との交流ができるよう先方にお願ひする。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	隣接するデイサービスセンターとの交流を行なっている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	初回面接時に個人情報の確認や家族の意向の確認、利用者の入退院、入退居情報等の連絡を入れている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	別の場所に移る場合は、情報提供表を作成し、ケアが大きく変わる事のないようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人の気持ちになり、不愉快な思いをさせないような言葉掛け、対応に心掛けている。ケース記録等の保管にも注意を払っている。また、家族に個人情報の取り扱いに関する同意書を取っている。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	理念にも掲げているように、自己決定する事を大切にしている。命令形ではなく、選択できるような言葉掛けを行なっている。また、そのような環境づくりにも心掛けている。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の身体状況を把握し、個性を大切に、また、本人の意思を確認し支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ホームでお願いしている移動美容室を利用している。パーマや毛染め等、利用者の要望にあった髪型にしている。また、服は自分で選べるよう支援し、身だしなみは職員が配慮している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の能力に合わせ、準備や片付けを利用者と一緒に行なっている。エリアの栄養士が作成した献立表を利用者の好みや希望を取り入れ変更したり、行事食や郷土料理を取り入れている。また、月に1～2回のお楽しみ昼食会等で、職員も利用者と一緒に食事をしている。	○	利用者の意見がもう少し取り入れる事ができるよう努めていく。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	買い物に出掛けた際、好みのおやつ果物等を選んでもらう。毎日のおやつ時に希望の飲み物を聞いたり、おやつを選んでもらう。	○	飲み物の希望は聞いているが、みんな同じ物が出されている為、一人ひとりの希望の飲み物が提供できるようにしたい。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個別に排泄対応し、時間をみて誘導等行い、本人が不快にならないよう職員が情報を共有し、同じ対応ができるようにしている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	昼間の入浴も急がせずゆったりと入浴出来るよう心掛けている。夜間入浴の希望を聞き、毎日入浴している利用者もいる。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	室内の温度等の調節を行い、昼食後に臥床したり、朝、起床できない利用者については、本人の意思に任せ、見守りを行なっている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居前の趣味や生活ぶりの情報を得、野菜・花を育てたり、調理、掃除等を行なっている。本を借りに行ったり、知人に会いに行く等外出する機会を設けている。		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭はホーム事務所にて小額を管理している。スーパーでの買い物では利用者に支払いをしてもらっている。また、外出の際には持参し、自分で支払いができるよう支援している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	1日1回でも外に出られるよう、気候の良い日は散歩に出掛けたり、買い物、ドライブ、図書館、道の駅等出掛けている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	普段家族と一緒に出掛けることが難しい方にも参加してもらえるよう、春に家族参加のドライブを企画したり、去年は初めて一泊旅行に出掛けた。また、個別に外食会を行ない、それぞれが行きたい場所に出掛けられるよう努めている。	○	今後も一泊旅行を行なっていきたい。早めの計画で、多数の家族の参加ができるようにする。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はいつでも使用できるようになっている。遠方の家族から届け物があった場合には電話をし、話ができるようしている。また、暑中見舞いや年賀状を家族や知人に出している。	○	遠方の家族には日常的な手紙の手紙のやり取りもできるように支援していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来訪者にはいつでも来て下さいと言葉を掛け、玄関も日中は施錠しないようにして、花を植えたり温かい雰囲気を出せるようにし、訪問しやすくしている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に係わるマニュアルがある。それらしい行為、言葉等見かけた場合には、相談員に報告するようにしている。	○	研修に参加し、学んでいく。また、ホーム内で勉強会を開催し毎日の介護を振り返り、身体拘束となっていないか話し合う場を設けたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には日中は施錠していないが、職員の見守りが十分出来ない時に帰宅願望の強い利用者がある場状況では、施錠する場合もある。	○	居室の窓は施錠されている場合が多い為、危険が無い限りは掛けないよう心掛ける。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	臥床された場合は他の職員に伝えている。入浴、散歩、買い物等の利用者を連れて行くか申し送りをしている。特に見守りが必要な利用者には常に所在の確認をそれぞれの職員が行い、状況を把握するようにしている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁は使用時以外、目の届かない場所に保管し、洗剤類は夜間のみ目の付かないように片付けている。裁縫道具は使用時は傍で見守り、使用後は片付けている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	法人のマニュアルが作成してある。毎年、救命救急講習に参加し、年2回、隣接するデイサービスセンターとの合同の防災訓練を行っている。日常の事故防止には、ひやりはっと、事故報告書を記入し、速やかに一人ひとりの状態に応じた防止策を検討している。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	毎年、救命救急講習に参加し、年2回、隣接するデイサービスセンターとの合同の防災訓練を行っている。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、防災訓練を行っている。運営推進委員の方にも訓練に参加してもらっている。	○	近隣の住民の方にも協力が得られるようお願いをしていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	日頃の利用者の状況を毎月報告し、起こり得るリスクがある場合には、直接家族に説明し、理解を得ている。対応も行動を制限しないように努めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	いつもと違うと感じた場合にはバイタルチェックを行い、時には隣接するデイサービスセンターの看護師に相談する事もある。その日の勤務者には速やかに報告し、その後の見守り、対応に気を付けている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人のケース記録には処方箋が綴ってある。処方の変更になった場合には申し送りをし、直ぐに新しい情報が得られるようにしている。服薬は配ったの飲み込むまでを確認している。	○	薬がこぼれている事がある為、飲み込むまでの見守りを徹底する。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取、食物繊維の多い食材を食事に取り入れ、日中は体を動かすよう工夫している。また、トイレ時に腹部のマッサージを行なう。便秘気味の利用者には主治医に相談し、下剤を使用する事もある。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に行ない、能力に応じた支援をしている。また、週に1回ポリドントによる義歯の洗浄を行なっている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	こまめに水分補給ができるよう、お茶の作り置きやポカリスエットを常備している。水分摂取が少ない利用者には、言葉掛けや飲み物の種類を色々変えたりしている。食事摂取が少ない利用者には、言葉掛けや、時間をおき勧めたりしている。また、おにぎりにし渡している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	法人のマニュアルが作成してある。予防の為、毎日、ホームの消毒をし、同じ物を加湿器にも使用している。体調不良の利用者の排泄介助等行なう際には、使い捨て手袋やマスクを着用し、飛散しないよう取り扱いに注意している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器類は食器乾燥機にて乾燥殺菌し、布巾類は毎日消毒している。食材は毎日、配達もしくは買い物にて新鮮なものを購入し使用している。	○	まな板、包丁は乾燥滅菌しているが、消毒も行なうようにする。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	整理整頓に心掛け、季節の花や行事の物を飾ったりして冷たい感じにならないようにしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	汚れたらその都度掃除し、観葉植物や季節の花、季節感のあるタペストリー等を飾っている。浴室、トイレの温度に気を付け、不快にならないようにしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂以外にも椅子、ソファを置き、くつろげる様にしている。居間の棚にはいつでも使用できるよう、本や折り紙、色鉛筆、ボール等の余暇道具が置いてある。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	入居の際に使い慣れた物や、今まで本人の部屋 に飾ってあった物を持ってきてもらうよう願 いしている。また、居室担当者が利用者 と相談しながら飾り付けする事もある。	○	まだまだ殺風景な居室もある為、家族に お願いし、馴染みの物を持ってきて もらう。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大 きな差がないよう配慮し、利用者の状 況に応じてこまめに行っている	温度・湿度計を設置し、冬場でも朝昼夕 の換気を行っている。また、利用者 に伺い、快適に過ごせるよう に配慮している。どうしても冬場 は足元が冷える為、動きの少 ない利用者にはレッグウォー マーや膝掛けを使用している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を 活かして、安全かつできるだけ自立 した生活が送れるように工夫して いる	必要な場所には手すりを設置したり、 躓きそうな物(コード類)は危険の 無いよう隅の方にかためている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、 混乱や失敗を防ぎ、自立して暮ら せるように工夫している	混乱や失敗につながるものは速やか に対処し、居室やトイレの表示を 大きくしている。日付が分かり やすいよう大き目の日めくりを 掲げている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が 楽しんだり、活動できるように活 かしている	畑や花壇を作り、いつでも手入れ できるような道具を置いてい る。ベンチを置き、外気浴が できるようにしている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

自然に恵まれ、近隣の方の好意で、山菜摘みや茶摘みをさせていただいている。昨年は開所以来初めて、一泊旅行を行なった。「遠くへ旅行に行きたいね」という利用者の声もあり計画してみたが大変好評だった。施設に入居してしまった為に今まで行なっていた事が制限されてしまった(できなくなってしまった)と思うことが一つもなくなるよう、利用者の支援を行なっている。また、気軽に喫茶が利用できるよう、エリア内でボランティアの方が行なっている喫茶に出掛けている。